

報道関係各位

2022年10月4日

一般社団法人嵐山町観光協会

<嵐山渓谷紅葉まつり開催>

～ 埼玉県・嵐山町 嵐山渓谷・嵐山渓谷バーベキュー場 ～

一般社団法人嵐山町観光協会（埼玉県比企郡嵐山町、理事長：高橋兼次）は、2022年11月19日（土）、20日（日）埼玉県比企郡嵐山町大字鎌形2857番地、嵐山渓谷バーベキュー場内において、嵐山渓谷紅葉まつりを開催します。



1. 嵐山渓谷紅葉まつり開催について

嵐山渓谷は県内有数の紅葉スポットであり、毎年多くの観光客で賑わいます。嵐山渓谷紅葉まつりを通じて、嵐山町の歴史や特産品などを紹介し、観光振興の推進に寄与することを目的とします。

2. 嵐山渓谷紅葉まつり 概要

■開園期間：2022年11月19日（土）、20日（日）

■開園時間：9:30～15:00

■イベント会場：嵐山渓谷バーベキュー場 イベント特設会場

■内 容：飲食物の販売、農産物販売、地元特産品（肉汁うどん、ラベンダー製品等）の販売

ワークショップ：嵐山渓谷のもみじを使ったオリジナルアロマキャンドルづくり、

ガイドウォーク：今年は特別2コース設定 ①嵐山渓谷 ②木曾義仲公生誕の地をめぐる

■所 在 地：埼玉県比企郡嵐山町大字鎌形2857番地

■アクセス：○電車 東武東上線「武蔵嵐山駅」西口から 徒歩約35分（2.7km）または 路線バス

「せせらぎバスセンター」行き（と02系）約10分乗車「休養地入口」バス停下車すぐ

○自動車 関越自動車「東松山IC」または「嵐山小川IC」から約15分（約8km）

- 駐 車 場：嵐山溪谷バーベキュー場駐車場（有料）
- お問合せ先：一般社団法人嵐山町観光協会 0493-81-4511

3. 嵐山溪谷の概要

■例年の紅葉の見ごろ：11月中旬～12月上旬

■埼玉県を代表する景勝地のひとつ、「嵐山溪谷」は、岩畳と槻川の清流・周囲の木々が織り成すみごとな景観と自然環境を持った、嵐山町の宝です。

昭和3年（1928）秋、「日本の公園の父」ともいわれる林学博士・本多静六博士が当地を訪れ、溪谷の最下流部にある槻川橋（当時は今よりも低い位置にあり、今でも橋脚の跡が残っています）から溪谷と周辺の紅葉や赤松林の美しい景観を眺め、京都の嵐山の風景によく似ている、“これは武蔵国の嵐山（むさしのくにのあらしやま）だ”と言われたことが大変評判になり、多くの観光客が訪れるようになりました。

このころ溪谷周辺には料理旅館の「松月楼」がオープンし、埼玉を代表する景勝地を見ようと、多くの人々が訪れるようになり、東武東上線の菅谷駅も昭和10年（1935）には「武蔵嵐山駅」に改名され、駅には観光客の長い列ができたといわれています。

昭和14年（1939）6月には、現代短歌の道を開いた代表歌人「与謝野晶子」が訪れ、溪谷の自然などをテーマに「比企の溪」29首を詠いあげました。（26首目が歌碑に刻まれています。）

現在では、さいたま緑のトラスト基金と嵐山町で公有地化がはかられ、緑のトラスト保全第3号地として整備、管理をしています。

また、バーベキューや川遊びシーズンになると、溪谷を流れる槻川下流の「嵐山溪谷バーベキュー場」にはたくさんの方が訪れます。

4. 嵐山溪谷紅葉まつり開催のご案内

埼玉県屈指の紅葉スポット嵐山溪谷は赤や黄色の紅葉が水面に映る彩りと、燃えるようなモミジを楽しむことができます。遊歩道も整備されているので歩きやすく、鳥のさえずりや川の流れる音で癒されます。都心から1時間とは思えない景色を楽しむことができ、アクセスが良いのも魅力です。是非お越しください。

~~~~~  
<以下画像 昨年の様子>





画像提供可能です。ご入用の節は、お手数はございますがご連絡くださいますようお願い申し上げます。

**【本リリースに関する報道お問い合わせ先】**

一般社団法人嵐山町観光協会 事務局 持田知子

TEL : 0493-81-4511

e-mail : mochida@ranzan-kanko.jp